









































# 1. 令和3年1月～3月期の景気動向

今期のDI平均値は△39.8ポイントで前期10～12月期の△55.0ポイントから16.8ポイント改善した。卸売業では33ポイント、製造業19ポイント、建設業、小売業では14ポイントのプラスとなったが、依然として各業種ともに厳しい状況が続いている。

業種 項目		建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
		1～3月	4～6月	1～3月	4～6月	1～3月	4～6月	1～3月	4～6月	1～3月	4～6月
		今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し	今期状況	見通し
売上高		△ 37 (△ 50) 	△ 53 (△ 44) 	△ 45 (△ 68) 	△ 12 (△ 54) 	△ 56 (△ 89) 	△ 23 (△ 78) 	△ 58 (△ 64) 	△ 52 (△ 64) 	△ 76 (△ 61) 	△ 39 (△ 61) 
採算		△ 18 (△ 38) 	△ 44 (△ 53) 	△ 34 (△ 54) 	△ 30 (△ 52) 	△ 45 (△ 67) 	△ 56 (△ 78) 	△ 38 (△ 56) 	△ 42 (△ 52) 	△ 60 (△ 55) 	△ 70 (△ 61) 
資金繰り		△ 7 (△ 13) 	△ 26 (△ 19) 	△ 25 (△ 38) 	△ 21 (△ 30) 	△ 22 (△ 44) 	△ 33 (△ 56) 	△ 31 (△ 48) 	△ 42 (△ 48) 	△ 47 (△ 44) 	△ 67 (△ 61) 
業況		△ 18 (△ 32) 	△ 32 (△ 32) 	△ 35 (△ 54) 	△ 23 (△ 48) 	△ 45 (△ 78) 	△ 56 (△ 89) 	△ 50 (△ 64) 	△ 50 (△ 60) 	△ 51 (△ 47) 	△ 70 (△ 47) 
経営上の 当面する 問題点	1位	官公需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞		需要の停滞	
	2位	民間需要の停滞		生産設備の不足・老朽化		仕入単価の上昇		消費者ニーズの変化への対応		利用者ニーズの変化への対応	
	3位	請負単価の低下		熟練技術者の確保難		その他		その他		新規参入企業の増加	
業種別 コメント		業況DI値は14ポイント改善。降雪による除雪需要や住宅関連でも、修繕工事やリフォーム工事等の民間需要が好調であったためと思われる。しかし、来期以降は公共工事の予算削減が予想されることから、来期見通しは14ポイントのマイナスとなっている。		自動車関連の業種を中心に回復傾向にあり、各項目ともに前期と比較してプラスとなったが依然として低い水準で推移している。生産設備の不足、老朽化や人材確保などを課題に挙げる企業も多く、国や県の支援策を有効に活用した対策が必要である。		巣ごもり需要の増加に伴い、関連業種において回復が見られた。来期見通しについては未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えないことからマイナス11ポイントとなっている。コロナ禍において常に変化する消費者ニーズをいち早く捉えた商品提案、営業活動が必要である。		食品スーパーやドラッグストア、ホームセンターなどの生活必需品やDIY用品を取り扱う業種は好調を維持しており、全項目共に改善が見られた。今後も外出自粛ムードは続くと思われる。横ばいとなっている。		年明けから新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したことで再び外出自粛ムードが高まったことや、1月上旬の記録的な大雪の影響により、飲食業を中心に各項目ともにマイナスとなっている。県央エリアにおいて新規感染者数が増加していることもあり、来期見通しについては29ポイントマイナスと依然として厳しい状況が予想される。	



※当所では分析にあたってD・I(好転したとする企業割合から悪化したとする企業割合を差し引いた値)を採用しました。

※( )は前回調査時のD・I値